

仮称世田谷区立玉川地域拠点保育園新築工事基本設計の中間まとめ（建物配置案等） について

（付議の要旨）

仮称世田谷区立玉川地域拠点保育園新築工事基本設計について、建物配置案等をまとめたので、報告する。

1 主旨

仮称世田谷区立玉川地域拠点保育園の新築工事における建物配置案等をまとめたので、報告する。

当保育園の整備については、玉川総合支所の建替えに伴い使用を終了する同支所分庁舎の跡地を活用して行うことを平成28年度に決定し、福祉保健常任委員会に報告している。

今年度より基本設計に取り組んでおり、あわせて、分庁舎で運営している保育室の認可保育所への移行等に伴う調整や、地域における保育必要量等の見極め、傾斜地にある現建物の地下部分の利活用の検討、近隣住民との意見交換を行ってきた。

このたび、近隣住民への影響が大きい敷地内の建物、園庭及びエントランスの配置等をまとめたので、今後の詳細検討や来年度の実施設計に備え、報告するものである。

今後は、福祉保健常任委員会に報告し、住民に説明した上で、諸室の配置等、基本設計の詳細を詰めていくこととする。

2 保育園の整備概要

（1）整備の方針

区立深沢保育園と区立奥沢西保育園を移転・統合し、玉川地域の拠点保育園とする。

拠点保育園として、地域の在宅子育て家庭への支援を行う「おでかけひろば事業」を実施し、保育所運営と一体的に運営することで、保育所の特性や保育士等の専門性を活かしながら、子育て等に関する相談や援助を実施する。

医療的ケアを必要とする児童を受け入れることができる指定保育園として、必要な基礎的環境を整えた施設とする。

保育対象年齢は0歳児から5歳児までとし、定員は180名を上限とする。

今後の定員規模に関しては、拠点保育園の役割・機能及び直近の地域における保育の必要量等を勘案し、保育の質の確保を前提として調整を図る。

地域に温かく見守られながら子どもたちが育つ、地域に開かれた施設づくりを目指す。

（2）跡地の活用

移設後の区立深沢保育園及び区立奥沢西保育園の跡地については、平成35年度以降に、私立認可保育園等（現時点で、定員各100名程度を想定するが、直近の地域における保育の必要量等を踏まえ、検討する。）を整備する。

3 建設概要

（1）敷地の概要

所在地 世田谷区等々力四丁目19番

敷地面積 1,601.56㎡

用途地域

第一種住居地域（目黒通りから30m以内）

第一種低層住居専用地域

（2）建物の概要

用途 区立認可保育園

規模 階数 地上2階地下1階

高さ 約8m

建築面積 / 建ぺい率 約820㎡ / 約50%

延床面積 / 容積率 約1,680㎡ / 約104%

園庭面積 約500㎡

構造 鉄筋コンクリート造

（3）設置諸室

保育室、遊戯室、ランチルーム（多目的室）、調理室、相談室、事務室、用務作業室、おでかけひろば、トイレ、玄関等を設ける。

医療的ケアが必要な児童を受け入れるために必要な医務室及び医務コーナーを設ける。

（4）建物配置等の考え方

敷地内に建物を配置するにあたっては、園庭の日当たりを確保しつつ、園庭からの音による隣接住宅地への影響を考慮し、園庭を道路に接する西側に、建物を東から北側にかけて配置する。

保育園の玄関、保護者の駐輪場及び業務用駐車場等がある地下へのエントランスは、周辺の道路通行等への影響を考慮し、車の交通量が比較的少ない北側の道路沿いに配置する。

高低差のある敷地の形状及び現建物に地下部分があることを有効利用し、必要な床面積を確保する。

4 中間まとめ（建物配置案等）の内容

別紙「案内図」、「建築概要」、「配置図兼平面図」等のとおりである。

なお、諸室の配置等は未定であり、今後、検討を進めていく。

5 概算経費

（1）施設整備費

約10億円（設計費、既存建物解体費、建設工事費）

今後VEを行う等、公共施設等総合管理計画に基づき更なる経費縮減を図る。

（2）施設維持管理費（想定）

約1,500万円/年（光熱水費、委託料、修繕費等）

類似施設からの試算による。

6 今後の予定

平成30年2月 福祉保健常任委員会報告

3月 住民説明会（建物配置案等）

10月 基本設計完了

11月以降 住民説明会（基本設計）

平成30年度～31年度 実施設計

平成32年5月 玉川総合支所分庁舎閉庁

平成32年度～33年度 分庁舎解体、仮称玉川地域拠点保育園新築工事

平成34年度以降 深沢保育園及び奥沢西保育園の移転・統合

仮称玉川地域拠点保育園開設